

【教育長賞】 大好きな給食

錦町小学校 太田 虹七

私は幼稚園の給食が大好きでした。小学校に入学する時も、どのような給食が出るのか、楽しみの一つでもありました。

入学して、初めての給食。放送委員の六年生が、今日の献立を放送していました。そこで、イカフライのレモン煮というメニューが発表されました。幼稚園にはなかった、聞いたこともないメニューにおどろきました。おいしいのかな。私は食べてもいないのに、おいしくないと判断し、半分のこしてしまいました。しかし、食べてみるとイカがとてもやわらかく、レモンの味が衣にしみついて、家で食べるフライとはまったくちがった味わいで、あつという間に食べ終わってしまいました。

家に帰ると、一番に給食のことを家族に話しました。イカフライのレモン煮という、きばつな名前とはうらはらに、とてもおいしくて、何度も食べたくなるような味だったことを話すと、母も父も自分たちが子供のころはなかったと言いました。

そこで私はイカフライのレモン煮について調べてみることにしました。すると、西尾市が発祥で、名古屋名物のみそかつがもとにつくられたことがわかりました。そして、給食以外でも食べられることを知り、母と買いに行くことにしました。

数日後、イカフライのレモン煮が売っているという道の駅に行きました。そこには、パックに入ったイカフライのレモン煮が売っていました。少しだけ

温めて食べたそれは、給食と同じ味でやはりおいしく、家族もおいしかったと言っていました。わたしは少しうれしくなりました。

それからかわらず、イカフライのレモン煮が給食の中で一番好きで、おかわりのジャンケンも絶対参加しました。高学年になると、このような地域の給食に興味を持ちました。ハンバーグの無花果ソースがけや、無花果ジャムなど、この地域だけの給食だと知り、ますます給食の時間が好きになりました。他の地域の友達と話す機会が増え、その際に地域の給食について話をし、盛り上がりました。やはりそれぞれの地域で、メニューがちがって、食べてみたくなるようなものばかりでした。

中学生になっても、給食が食べられることがうれしいです。いつか私がお母さんになったら、小、中学校で食べた、給食のことを子供と話したいと思いました。